

健康教室



提供・問い合わせ
（社）いわき市医師会
☎38-4201

花粉症治療薬とその副作用

いわき市は全国でもトップクラスのスギ花粉の飛散地で、例年二月初旬ごろから飛散が始まります。今年も花粉症による目や鼻のアレルギー症状で、医療機関を受診される方が多くなる季節になります。薬による花粉症の治療は、抗アレルギー薬の内服や、抗アレルギー点眼薬と点鼻薬の使用が中心になります。薬は症状が現れてから始めるよりも、スギ花粉の飛散が始まる予報日の二週間ぐらい前から始めるとより効果的です。抗アレルギー薬を使用しても強い症状が続く場合は、ステロイド点眼薬や点鼻薬を追加することも

あります。一般に炎症を抑える効果が高いステロイド薬ですが、特にステロイド点眼薬は長期使用、まれに短期使用でも眼圧（目の硬さ）が上昇するという副作用が現れることがあります。眼圧の上昇を放置すると、視野が狭くなる緑内障という目の病気になることもありますので、ステロイド点眼薬の処方では眼圧の測定や、眼圧の上昇に対応できる医療機関で受けるようにしましょう。緑内障は生涯にわたる治療が必要で、日本人の失明原因の上位に入ります。花粉症治療薬の副作用で思わぬ病気にならないよう注意しましょう。

かかりつけ医の紹介・相談やこれまでの掲載内容は、医師会事務局へ（ホームページURL <http://www.iwaki.or.jp/>）

●かかりつけ医を持ちましょう

●アレルギー診療はぜひかかりつけ医へ

●救急車は適正に利用しましょう

休日当番医など（2月1日～3月15日）

休日 当番医

※症状によっては、専門外となる場合もありますので、不明な場合は、当番医療機関へお問い合わせください。

2月3日(日)	山口医院	平作町	24-1811
	すみたか内科クリニック	泉町滝尻	75-1560
	こうじま慈愛病院	錦町	63-5141
10日(日)	渡辺産科婦人科	常磐関船町	42-4567
	須田医院	小島町	27-6060
	磐城中央クリニック	小名浜南富岡	53-3511
11日(月)	榎田病院	植田町	63-3202
	いわき湯本病院	常磐湯本町	42-3188
	須田医院	小島町	27-6060
17日(日)	かしま病院	鹿島町下蔵持	58-8010
	すけがわ内科クリニック	植田町	77-0710
	常磐病院	常磐上湯長谷町	43-4175
24日(日)	山口医院	平作町	24-1811
	石井脳神経外科眼科病院	小名浜林城	58-3121
	呉羽総合病院	錦町	63-2181
	常磐腎臓病クリニック	常磐下船尾町	43-1200
3月3日(日)	須田医院	小島町	27-6060
	中央台たなか眼科	中央台高久	29-1722
	ふかや耳鼻咽喉科	小名浜住吉	58-1187
	なこそ病院	勿来町	65-7755
10日(日)	春山医院	常磐下湯長谷町	44-4011
	山口医院	平作町	24-1811
	小林胃腸科・肛門科医院	小名浜元分	53-4466
	こうじま慈愛病院	錦町	63-5141
10日(日)	いわき湯本病院	常磐湯本町	42-3188
	須田医院	小島町	27-6060
	中央台たなか眼科	中央台高久	29-1722
	中村病院	小名浜大原	53-3141
10日(日)	呉羽総合病院	錦町	63-2181
	常磐病院	常磐上湯長谷町	43-4175

日曜 小児専門当番医 9時～12時

2月	3日	しがこどもクリニック	鹿島町久保	58-5505
	17日	森のこどもクリニック	植田町	38-7227
	24日	おおはらこどもクリニック	東田町	63-0001
3月	3日	福田小児科医院	平下荒川	22-4272
	10日	相原小児科医院	内郷御厩町	26-5551

※変更となる場合がありますので、事前に当番医療機関、または消防署（☎23-0119）へお問い合わせください。市ホームページでも公開していますので、ご覧ください。

休日診療協力医 ※休日当番医の場合は、左表に記載しています。

【内科】
須田医院（小島町）
8時30分～12時 ☎27-6060

2月17日

【整形外科】
坂本整形外科医院（平豊間）
8時30分～12時、14時～17時 ☎38-2830

2月24日

【泌尿器科】
常磐病院（常磐上湯長谷町）
9時～15時 ☎43-4175

2月3日、10日、17日、24日
3月3日

【精神科】
新田目病院（平上荒川）
10時～16時 ☎28-1222

2月3日、10日
3月3日、10日

【眼科】
中央台たなか眼科（中央台高久）
9時～14時 ☎29-1722

2月3日、17日
3月3日

※この他にも休日に診療している医療機関がありますので、あらかじめかかりつけの医療機関などで確かめてください。

休日夜間急病診療所【内科・小児科】
総合保健福祉センター隣 ☎27-1208
平日：20時～23時 土曜日：20時～翌朝7時
日曜日：14時～18時、19時～23時
祝日：9時～13時、14時～18時、19時～23時

休日救急歯科診療所
総合保健福祉センター内 ☎27-8620
日曜日、祝日：9時～12時、13時～16時
（受付終了時間15時30分）

県子ども救急電話相談 ☎024-521-3790または
#8000（プッシュ回線・携帯電話）
毎日 19時～翌朝8時

病理診断科医療録⑪

けんこうQ&A 神経内科⑪

臨床・病理検討会（CPC）の実例
CPCの実例を紹介いたします。九十歳の女性が嘔吐と食事摂取困難で受診し、高血圧、巨大な腹部大動脈瘤により入院となりました。徐々に増悪する下腹部痛と腰痛および貧血により、入院後数日で亡くなりました。臨床診断は、腹部大動脈瘤破裂、高血圧症、貧血で、病理解剖も行われませんでした。CPCでは、嘔吐と食事摂取困難などの腹部症状の原因が何であるかが問題点として挙げられ、さまざまに議論が行われました。CPCを行うことで、今後同様の結果が提示されました。病理解剖による主たる診断は、腹部大動脈瘤による腹部の圧迫と大動脈瘤破裂による腹腔内出血であり、腹部症状の原因であったことが明らかになりました。このような疾患では、血圧コントロールなどにより定期的に経過を追うか、外科的に人工血管置換術などを行うことが一般的です。

パーキンソン病②
Q 原因は？
A 根本的な原因については不明ですが、左右の大脳の間にある中脳において、ドーパミンという化学物質をつくり、放出している神経細胞が減少し、細胞間の情報伝達がうまくいかなくなることで、発症につながっていると考えられています。
Q 治療方法は？
A 減少した神経細胞を元通りにすることは困難ですが、その代用として、近年はレボドパ以外にもさまざまな薬剤が実用化されており、内服薬のほか、注射や貼付薬もあります。
Q 外部からドーパミンを補充することは可能か？
A 可能ですが、ただし脳に入り口には関所があり、ドーパミン自体はここを通過できません。このため、通過した後に脳内でドーパミンに変化するレボドパという薬剤が開発され、広く用いられています。